学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	メディア演習	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報の記録・伝達の歴史を学び、表現者としての視点を養う科目です。映画や出版物等の媒体を分析・再構成し、言葉を超えた感情の捉え方や編集能力を習得します。グループワークでは他者との協議や共感を重んじ、主体的かつ協働的に取り組む姿勢を養います。ノートのデザインやポートフォリオ制作を重視し、自己分析を含む「振り返り」や提出物の充実度を高く評価します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
各媒体の歴史を学び、メディアの分解・再構成を通じた編集能力や言語表現技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
伝達の必然性を読み解き、自身の経験や感情を客観的に捉え、他者へ伝える表現力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
他者との協議や共感を重んじ、ノートのデザイン等を通じ主体的・協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	エッセイ、映画、演劇などの多様な媒体に触れ、情報の記録や伝達の歴史、放送・出版等のマスコミュニケーションの視点を理解する。正しい日本語表現やDTPに関する知識を習得し、メディアの分解・再構成を通じた編集能力や、自己表現に適切なメディアを選択できる技能の定着を評価する。ノートのデザイン等を通じた言語技術の向上を重視する。	伝達・表現の背景を探り、その方法や選択の必然性を読み解く力を養います。映画鑑賞や自分研究を通じ、個人の経験や感情を客観的に捉え、表面的な感想に留まらず他者に通じる文章や絵として具体化する表現力を評価する。自己表現において、各成果物がどのような印象を与えるかを考察し、適切な情報量や手段を論理的に判断する能力を重視する。	他者との協議や共感を通じて、目標達成に向けた情報収集やグループワークに主体的かつ協働的に取り組む態度を評価する。一年を通して実習ノートを美しくデザインし、充実した内容でまとめる継続的な姿勢を重視する。表現者としての視点で媒体に興味を持ち、自己の感情を客観的に見つめながら、表現を深めるために自ら学び、他者と切磋琢磨する意欲を評価対象とする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	自己表現Ⅰ	自己アピールについて ・自分研究レポート ・ポートフォリオ 映画鑑賞 　作り手としての作品鑑賞 　鑑賞に伴う 　歴史・知識について はがきの書き方	a:新聞の要約、鑑賞映画の感想とそれに伴う技術などの調べ学習を行い、それらをノートとして統一したデザインでまとめている。正しい日本語、文語と口語の違いなど適切な表現を使用し、DTPに関する意識を持っている。 b:要約・感想の内容が表面的ではなく、個人の経験や考え・感情が反映されている。加えてそれを他人に通じる文章や絵としてあらわされている。 c:一年を通してノートを美しくデザインし、充実した内容でまとめている。	映画鑑賞 感想レポート 自分研究 レポート	映画鑑賞感想レポート アンケート	映画鑑賞 感想レポート ポートフォリオ ノート
2	自己表現Ⅱ	自己アピールについて ・自分研究レポート ・ポートフォリオ 映画鑑賞 　作り手としての作品鑑賞 　鑑賞に伴う 　歴史・知識について 思考法を用いたグループワーク 組み写真制作 特別授業	a:鑑賞映画の感想とそれに伴う技術などの調べ学習、それらをまとめる際にデザイン側面も満たしている。正しい日本語、文語と口語の違いなど適切な表現を使用している。 b:要約・感想の内容が表面的ではなく、個人の経験や考え・感情が反映されている。加えてそれを他人に通じる文章や絵としてあらわされている。自身の感情・感覚を客観的に判断する。 c:一年を通してノートを美しくデザインし、充実した内容でまとめている。	映画鑑賞 感想レポート 自分研究 レポート	映画鑑賞感想レポート アンケート	映画鑑賞 感想レポート ポートフォリオ ノート
3	自己表現Ⅲ	自己アピールについて ・自分研究レポート ・ポートフォリオ デザイン史 　（写真・映画を中心として） 映画鑑賞 　作り手としての作品鑑賞 　鑑賞に伴う 　歴史・知識について 著作権特別講義	a:正しい日本語、文語と口語の違いなど適切な表現ができる。DTPに関する意識が持っている。作品整理がおこなえる。 b:要約・感想の内容が表面的ではなく、個人の経験や考え・感情が反映されている。加えてそれを他人に通じる文章や絵としてあらわすことができる。 自身の感情・感覚を客観的に判断する。 c:一年を通してノートを美しくデザインし、充実した内容でまとめている。	映画鑑賞 感想レポート 自分研究 レポート	映画鑑賞感想レポート アンケート	映画鑑賞 感想レポート ポートフォリオ ノート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度